

投資って意外と面白い。 楽しく学ぶ金融教育ゲーム!

カブコン

背景

老後生活を送るには、約3000万円の貯蓄が必要だという試算結果が出ている。政府も新NISA制度の開始や、公立高校で金融教育を行うなど機運を高める狙いだが、Z世代においては、将来の経済に対する不安を持つ人が多く存在する。この要因の一つが資産形成についての知識不足である。そこで「若者に対し貯蓄や投資に対する正しい理解を提供すること」を目的とした。

ゲーム内容

遊ぶだけで「お金のセンス」が身につく!

すごろく形式で投資の流れを学べる金融教育ゲームである。
AIが生成するニュースや株価の変動を踏まえながら投資の判断を行う。クイズやライフイベントを通して金融知識と資産形成の考え方を磨き、最終的に**金融資産・知識・幸福度**で勝敗が決まる。学びと遊びが融合した、新感覚のパーティー型教育ゲームである。

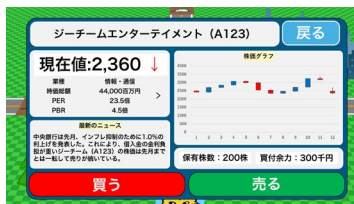
親しみやすいデザイン!



クイズで株や投資に詳しく!



AIで株価を生成!



ターゲット/ビジネス展開

一家団欒に投資の話を

友人と楽しく投資を学ぶ



ファミリー層

+



学生・Z世代

創業期のビジネスモデルは…**教育機関に導入!**

→学生に投資を学ぶために学校の授業で利用してもらう。



そこを起点として、徐々に**家庭とZ世代全体に広めていく**



市場規模

我々が属するのは金融教育サービス市場であり、その市場規模は2024年時点で1065億円である。これをSAMとして認識した。また、我々が実際にアプローチできるユーザーは、イノベーター理論のイノベーターであると考え、SAMの2.5%にあたる**26億円**を創業後数年で獲得可能な売上高、SOMとした。

参考：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000084.000109717.html>

SAM: 1065億円

SOM: 26億円